

大田桜台 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 倫理

教 科： 公民 科 目： 倫理 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （選択D：石橋） （選択E：石橋）

使用教科書： （東京書籍 倫理 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。また、諸資料から、必要な情報を調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 倫理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 哲学すること  【知識及び技能】 ・「哲学すること」の意義について理解させる。  【思考力、判断力、表現力等】 ・「哲学すること」の意義について、多面的・多角的に考察し、考えたことを表現させる。  【学びに向かう力、人間性等】 ・「哲学すること」について、自己の生き方や社会・世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究させる。	①哲学の意味 ②哲学の進め方	【知識・技能】 「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解している。  【思考・判断・表現】 ・「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について、多面的・多角的に考察し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて思索を深めている。  【主体的に学習に取り組む態度】 「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究している。	○	○	○	2
	B 単元 ギリシャの思想  【知識及び技能】 ・ギリシャの思想の世界観について理解させる。  【思考力、判断力、表現力等】 ・ギリシャの思想について多面的・多角的に考察し、考えたことを表現させる。  【学びに向かう力、人間性等】 ギリシャの思想の世界観を手がかりに、人間・社会・世界の在り方について主体的に探究させる。	①哲学の誕生 ②自然哲学 ③ソフィスト ④ソクラテス ⑤プラトンのイデア論 ⑥プラトンの哲人政治 ⑦アリストテレス ⑧ヘレニズム・ローマの思想	【知識・技能】 ・ギリシャの思想における人生観・倫理観・世界観について理解している。  【思考・判断・表現】 ギリシャの思想における人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について考え、表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・ギリシャの思想における人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	○	○	○	8
	C 単元 宗教と社会  【知識及び技能】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について理解させる。  【思考力、判断力、表現力等】 ・宗教が人間や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現させる。  【学びに向かう力、人間性等】 ・宗教について、自己の在り方生き方や社会・世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究させる。	①集団的な現象としての宗教 ②ユダヤ教 ③イエスの教え ④キリスト教の展開 ⑤イスラム教の教え ⑥イスラム教の展開 ⑦仏教の誕生 ⑧仏教の展開	【知識・技能】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について理解している。  【思考・判断・表現】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究している。	○	○	○	8

<p>D 単元 近代と人間尊重の精神</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景とともに理解させる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋の近代化について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、多面的・多角的に考察させる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋の近代化について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、主体的に探究させる。</li> </ul>	<p>①ルネサンス期の思想 ②宗教改革 ③近代科学の誕生</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景とともに理解させる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察させる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて主体的に探究させる。</li> </ul>	○	○	○	3
<p>E 単元 近代思想の展開</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想の特徴について理解させる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めさせる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。</li> </ul>	<p>①ベーコン ②デカルト ③経験論と合理論 ④社会契約説 ⑤カントの哲学 ⑥ヘーゲルの哲学 ⑦功利主義 ⑧社会主義 ⑨社会の進歩と実証的思想</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想の特徴について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。</li> </ul>	○	○	○	9
<p>定期考査</p>			○	○	○	1

2 学 期	F 単元 現代思想の展開	<p>①キルケゴールの実存思想 ②ニーチェの超人思想 ③フロイト、無意識の発見 ④ハイデッガー、サルトルの実存主義 ⑤ソシュールの言語学 ⑥構造主義、フーコーの権力論 ⑦ドゥルーズ、デリダの思想 ⑧「顔」への応答責任、レヴィナスの倫理学 ⑨全体主義への思索、アーレント、フランクフルト学派 ⑩ロールズの正義論 ⑪リパタリアニズムとコミュニタリアニズム ⑫マザーテレサの実践 ⑬自然と人間とのかかわり ⑭「自由に生きる」とは？ ⑮なぜ、「正しく」生きるべきか？</p>	<p>【知識・技能】 ・キルケゴール、ニーチェ、フロイト以降の思想家の思想について、理性中心主義や機械的自然観を特徴とする近代的世界観のあり方への批判という観点から理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・キルケゴール、ニーチェ、フロイト以降の現代の思想家の思索を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。</p>	○	○	○	15
	II 単元 医療、生命科学における諸課題と倫理	<p>①クローン技術1 ②クローン技術2 ③生殖補助技術 ④出生前診断の是非 ⑤生命の質の追求と優生学 ⑥脳死・臓器移植問題 ⑦エンハンスメント ⑧患者と医者との関係性 ⑨終末期医療の在り方 ⑩フーコーの権力論と生命倫理 ⑪身体観・生命観の変容 ⑫先端医療・生命科学とどのように向き合うべきか</p>	<p>【知識・技能】 ・生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、「生きること」の意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、「生きること」の意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・「生命」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	I 単元 情報社会における諸課題と倫理	<p>①メディア論という分野 ②メディアの歴史 ③マスメディアとは何か ④デジタルディバイド ⑤ビッグデータ ⑥人工知能と社会 ⑦インターネット上の人権侵害 ⑧忘れられる権利 ⑨監視社会論 ⑩情報社会は人間を幸福にしたか</p>	<p>【知識・技能】 ・情報技術の高度化に着目して、AIなど先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・情報技術の高度化に着目して、AIなど先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・「情報技術」や「インターネット社会」、「AIの活用」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
3 学 期	定期考査						1
							合計
							70